

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの基盤と専門職	HSP11-002	選択	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石原 真里奈	講師控室	kyoumu	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;ソーシャルワークの専門性を理解し、その基盤となる理論や実践的なスキルを身につけることで、ソーシャルワーカーとしての役割や職務を遂行するための基本的な知識・技能・態度を習得する。また、ソーシャルワークにおける歴史的、社会的な形成過程等について理解し、言語化ができることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;ソーシャルワークの基本的な理論や倫理的な原則、法的制度や社会福祉制度などについて説明する。また、ソーシャルワーカーとしての役割や職務についても解説する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	本講義は、ソーシャルワーカーとして活動する上での基盤となる価値や倫理を解説する。ソーシャルワークに関する倫理綱領や行動指針を熟読しておくこと。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通・社会専門) /編：一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 /中央法規				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの形成過程と歴史的背景を理解し、説明できる。			HC(1)、(3)	
②	社会福祉士・精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解し、説明できる。			HC(5)	
③	社会的な問題や社会福祉の対象について理解し、説明できる。			HC(2)、(3)	
④	ソーシャルワークの基盤としての価値・知識・技術について理解し、説明できる。			HC(1)、(3)、(5)	
⑤	ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解し、説明することができる。			HC(1)、(2)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する) 本科目の意義について理解する。ソーシャルワーク専門職である社会福祉士および精神保健福祉士の法的な位置づけ (第1章)	講義	シラバス・教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る	4	
2	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士および精神保健福祉士の法的な位置づけ② 社会福祉士及び精神保健福祉士の制度創設の経緯や背景等について学ぶ (第1章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
3	ソーシャルワーク専門職としての必要な知識や技術、価値の習得について学ぶ (第1章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
4	社会福祉士及び精神保健福祉士に求められるコンピテンシーについて学ぶ (第2章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
5	ソーシャルワークの概念① ソーシャルワークの定義について学ぶ (第2章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
6	ソーシャルワークの概念② ソーシャルワークを構成する要素を学ぶ (第2章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
7	ソーシャルワークの基盤となる考え方① ソーシャルワークの諸原理について学ぶ (第3章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
8	ソーシャルワークの基盤となる考え方② ソーシャルワークの理念について学ぶ (第3章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
9	ソーシャルワークの形成過程① ソーシャルワークの源流について学ぶ (第4章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
10	ソーシャルワークの形成過程② ソーシャルワークの発展期について学ぶ (第4章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
11	ソーシャルワークの形成過程③ ジェネラリストソーシャルワークについて学ぶ (第4章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
12	ソーシャルワークの倫理① 専門職倫理について学ぶ (第5章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	
13	ソーシャルワークの倫理② ソーシャルワーカーの倫理綱領について学ぶ (第5章)	講義・グループワーク	教科書の該当章を精読する・授業を通して得た学びを振り返る。	4	

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

14	ソーシャルワークの倫理③ ソーシャルワーク実践において生じる倫理的ジレンマについて学ぶ (第5章)	講義・ グループワーク	教科書の該当章を精読する。・授業を通して得た学びを振り返る。	4					
15	ソーシャルワークの専門性とは何かを学ぶ・振り返り	講義・ グループワーク	授業を通して得た学びを振り返る。	4					
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		50	30	0	0	20	100		
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40		
	思考・推論・創造する力	10	15	0	0	0	25		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10		
	取組みの姿勢・意欲	0	15	0	0	10	25		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	学期末に筆記試験（選択式）を実施して評価する。 試験範囲は講義中に用いた教科書・配布プリントから中心に出題し、理解度を問う。				試験結果を掲示する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
レポート	①	✓	講義内容の要点や感想をリアクションペーパーとして提出する。理解度を確認し、意欲的に学ぶ姿勢を評価する。				講義内で適宜フィードバックする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	理解を深めるために受講者間のディスカッションやグループワークを実施する。主体的な受講姿勢やグループ間におけるコミュニケーション力等を評価する。				講義内で適宜フィードバックする。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	なし								
教員の実務経験	社会福祉士取得後 12 年の実務経験を有する。								
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の実践の実例を用いて解説しながら学習する。								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生成 AI (ChatGPT 等) を使用した課題作成は認めない。発見した場合は、評価を減じる。</li> <li>・社会福祉士・精神保健福祉士国家資格取得希望者は必ず履修すること。</li> <li>・全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。</li> <li>・尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</li> </ul>								